

沼沼にすむ おもな 野鳥

繁殖期
春・夏



- 留** 留鳥 : 同じ地域に1年中生息しており季節的に大きく移動しない。
- 夏** 夏鳥 : 主に東南アジアから春に渡来し、子育てをした後、再び越冬地に帰る。
- 冬** 冬鳥 : ロシアや中国東北部などから秋に渡来し、冬を越した後、再び繁殖地に帰る。
- 旅** 旅鳥 : 渡りの途中、春・秋に定期的に姿を見せる。

水面



留 カイツブリ【カイツブリ科】
全長 25-29cm。主に動物食性で、魚類、昆虫、甲殻類、貝類等を食べる。



留 オオバン【クイナ科】
全長 32-39cm。植物食傾向の強い雑食性で、水生植物の他に、魚類、昆虫、軟体動物も食べる。



留 バン【クイナ科】
全長約 35 cm。雑食性で、昆虫、甲殻類、植物の種子などを食べる。



夏 コアジサシ【カモメ科】
全長約 24 cm。ダイビングして魚をとる。繁殖前はオスがメスへ獲物を与える。

湿地 ヨシ帯



夏 オオヨシキリ【ヨシキリ科】
全長約 18cm。動物食性で、昆虫類、節足動物等を食べる。



夏 ヨシゴイ【サギ科】
全長 31-38cm。動物食性で、魚類、両生類、昆虫、甲殻類等を食べる。

湖岸 砂泥地や低茎草本地



留 ハクセキレイ【セキレイ科】
全長約 21 cm。雑食性で、昆虫類やクモ、ミミズ等を主に捕えて食べる。



留 イソシギ【シギ科】
全長約 20cm。動物食性で、主に昆虫を食べるが、甲殻類、軟体動物も食べる。

河畔林



留 ヒバリ【ヒバリ科】
全長約 17cm。植物食傾向の強い雑食性で、主に種子を食べるが昆虫、クモ等も食べる。



留 ホオジロ【ホオジロ科】
全長約 17cm。雑食性で秋から冬には植物の種子、繁殖期には昆虫類を食べる。



留 カワラヒワ【アトリ科】
全長約 14cm。植物の種子を主に食べる。



留 キジバト【ハト科】
全長約 33cm。種子食性で果実や種子を食べるが、繁殖期には昆虫、貝類等も食べる。

水田・ハス田



留 カルガモ【カモ科】
全長 53-63cm。植物食傾向の強い雑食性で、種子、水生植物、昆虫等を食べる。



留 キジ【キジ科】
全長オス約 81 cm、メス約 58 cm。種子、芽、葉を食べるが、昆虫やクモも食べる。



留 ゴイサギ【サギ科】
全長 58-65cm。動物食性で、両生類、魚類、昆虫、クモ、甲殻類等を食べる。



夏 チュウサギ【サギ科】
全長約 68cm。主に魚類やカエルなどを食べる。非繁殖期は単独行動する。



留 セッカ【セッカ科】
全長約 13cm でズメより小さい。動物食性で昆虫やクモを食べる。



旅 キアシシギ【シギ科】
全長約 25cm。水深の浅い場所を歩きながら、カニや昆虫類を食べる。



留 アオサギ【サギ科】
全長 88-98cm。動物食性で魚類、両生類、鳥類の雛、小型哺乳類、昆虫等を食べる。



夏 アマサギ【サギ科】
全長 46-56cm。動物食性で主に昆虫、クモを食べるが、魚類、両生類、爬虫類等も食べる。

非繁殖期
秋・冬

※プリントの表裏で季節が変わります。

水面



冬 カンムリカイツブリ
【カイツブリ科】 全長 46-61cm。
動物食性で、魚類、両生類、水生昆虫などを食べる。



冬 スズガモ 【カモ科】
全長オス約 46cm, メス約 43cm。
アサリを始めとする貝類を食べる。



冬 ヒドリガモ 【カモ科】
全長約 49cm。オスは笛の音のように「ピュー」と鳴く。植物食性であるが水生昆虫や軟体動物を食べることもある。



冬 キンクロハジロ 【カモ科】
全長 40-47cm。雑食性で水生植物、昆虫、甲殻類、軟体動物、魚類、カエルを食べる。



留 カワセミ 【カワセミ科】
全長約 17cm。魚類や甲殻類、水生昆虫、エビやカエルを食べる。

湿地 ヨシ帯



冬 ハイロチュウヒ 【タカ科】
全長オス 40-45cm, メス 50-55cm。
オスは灰色、メスや幼鳥は褐色。肉食性。



冬 チュウヒ 【タカ科】
全長オス約 48cm, メス約 58cm。
肉食性で魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類を食べる。



冬 コミミズク 【フクロウ科】
全長約 38cm。動物食性で昆虫類、小型の鳥類、小型哺乳類等を食べる。夜行性。



留 ミサゴ 【ミサゴ科】
全長 54-64cm。肉食性で魚類を食べるが、爬虫類、鳥類、貝類を食べることもある。



冬 オオワシ 【タカ科】
全長オス約 88cm, メス約 102cm。
動物食性で主に魚類を食べるが、鳥類、哺乳類も食べる。

水田・ハス田



留 ダイサギ 【サギ科】
全長約 90cm。動物食性で、魚、両生類、ザリガニ、昆虫を食べる。



冬 タシギ 【シギ科】
全長約 27cm。動物食傾向の強い雑食性で、昆虫、節足動物、甲殻類、種子を食べる。



旅 オオハシシギ 【シギ科】
全長約 29cm。動物食性で、嘴を地中に深く差し込んで昆虫類や巻貝を採食する。



冬 コハクチョウ 【カモ科】
全長 115-150cm。植物食性で水草、草の根、果実を食べる。



留 ハヤブサ 【ハヤブサ科】
全長オス 38-45cm, メス 46-51cm。
スズメやハト、ムクドリ、ヒヨドリを食べる。



留 冬 チョウゲンボウ 【ハヤブサ科】 全長 30-35cm。
齧歯類や小型の鳥類、昆虫、ミズ、カエルを食べる。

ラムサール条約登録湿地
(2015年5月29日登録)

ラムサール条約の趣旨

- ・「湿地の保全」
- ・「賢明な利用」(湿地の生態系を維持しつつ得られる恵みを持続的に活用する)
- ・「交流・学習」(情報交換、教育、参加、啓発活動を進める)

 涸沼には、東アジア地域の個体群の1%以上のスズガモが毎年飛来している。また絶滅の恐れがあるオオワシが定期的に飛来し越冬している。

ヒヌマイトトンボ

1971年7月7日、大洗町松川と茨城町中石崎宮前の涸沼周辺の湿地帯で発見された。成虫も幼虫も汽水域のヨシ原に生息する。

大きさ
腹長
22 mm

